



平成 18 年 7 月 19 日

大阪経済記者クラブ会員各位

大阪商工会議所

**大阪大学・ケンブリッジ大学ジャッジ経営大学院 共催
エグゼクティブ MOTI 講座 開設について**

<大商が仲人役で実現へ>

————— 製薬・バイオ分野に焦点をあてた MOTI 講座開設、
ケンブリッジ大学と共同で授業を提供する連携はアジア初 —————

大阪商工会議所は、彩都など北大阪地域のバイオクラスターと世界有数のバイオクラスターである英国ケンブリッジとの連携強化を模索し、大阪大学とケンブリッジ大学（ジャッジ経営大学院）に具体的な連携を呼びかけたところ、このたび、両大学による製薬・バイオ分野での共同講座を開設する運びとなった。

同講座は 2007 年 2 月から、MOTI 講座（Management of Technology and Innovation：技術・製品開発に関する経営戦略講座）として大阪及び英国ケンブリッジで開講することとし、明日 20 日から受講生の募集を開始する。

製薬・バイオ分野に焦点をあてた MOTI 講座開設は日本初であり、ケンブリッジ大学ジャッジ経営大学院がアジア圏の大学と提携して両大学から授業を行う講座を開設するのは、大阪大学が初めて。

発表者：ケンブリッジ大学 ジャッジ経営大学院 教授 ジョージ・オルコット氏
大阪大学 医学系研究科 教授 森下竜一 氏
大阪商工会議所 経済産業部長 児玉達樹 氏
英国総領事館 総領事 ポール・リンチ 氏

添付資料：MOTI 講座企画書（プログラム）、発表者略歴、
ケンブリッジ大学ジャッジ経営大学院からのプレス資料
大阪大学スポンサー産学官連携機構 機構長 馬越祐吉氏（理事・副学長）からのコメント

【お問い合わせ先】

大阪商工会議所 経済産業部 ライフサイエンス振興担当（槇山・下市）
〒540-0029 大阪市中央区本町橋 2 - 8
TEL 06-6944-6484 FAX 06-6944-6249

MOTI 講座 プログラムの内容、受講に関する問合せ、申込みについては
ヒューマン・アカデミー(株) MBA プログラム担当 二島（ふたしま）
〒163-0503 東京都新宿区西新宿 1-26-2 新宿野村ビル 3 階
TEL 03-3345-9251 FAX 03-3342-4731



「大阪大学・ケンブリッジ大学ジャッジ経営大学院 共催 エグゼクティブ MOTI 講座」の概要

同講座は、日本の製薬・バイオ・ライフサイエンス関連事業を行う企業で、近い将来研究開発の部門長、部長等と目される幹部候補生を対象に実施するもので、変化の早いイノベーションに対応できる人材育成を目的としている。ケンブリッジ大学ジャッジ経営大学院におけるプログラムには、欧州の大手製薬企業の幹部、地元ベンチャー企業等との交流の場もあり、ネットワーク形成にも役立つ。

事業主体及び、協力組織

事業主体 : 大阪大学スーパー産学官連携機構
大阪大学先端科学イノベーションセンター
大阪大学大学院医学系研究科
ケンブリッジ大学ジャッジ経営大学院

企画・開設準備協力 : 大阪商工会議所

運営・管理 : ヒューマンアカデミー株式会社

プログラム設計

全プログラム・ディレクター : ジョージ・オルコット博士

(ケンブリッジ大学ジャッジ経営大学院教授)

日本プログラム監修 : 森下竜一教授 (大阪大学大学院 医学系研究科臨床家遺伝子治療学教授、アズエスMG株式会社取締役)

小林敏男教授 (大阪大学先端科学イノベーションセンター 副センター長)

プログラム内容 (添付資料参照)

製薬・バイオ関連企業の経営管理者、研究開発管理者 (CTO) 等の候補者を対象に、国際的環境化でのイントレプレナーシップ (企業内起業) のトレーニングを行うエグゼクティブ MOTI プログラム。MOTI は、従来の MOT (Management of Technology) では、改革の主体であるイノベーションに十分対応ができなかったことを受け、変化の早い科学技術イノベーションに対応すべく考えられた新しいプログラム。イノベーションは、政府の策定した第三期科学技術基本計画でもキーワードとして繁用されているように、今後の科学技術の実用化の鍵になる概念で、既に欧米では、MOT (Management of Technology) & Innovation (=MOTI) の企業経営に与えるインパクトから、MOTI プログラムが高く評価されている。特に、ケンブリッジ大学ジャッジ経営大学院は、MOTI に早くから取り組み、欧米でも高い評価を得ている。

プログラムは日本での総時間 72 時間 (2 日間集中セッション × 6 回 / 3 ヶ月) で提供される MOTI ファウンデーション (基礎) プログラムと、英国での 5 日間の MOTI プログラム

開講時期 : 大阪プログラム 2007 年 2 月 9 日 ~ 5 月 12 日

ケンブリッジプログラム 同年 5 月 20 日 ~ 6 月 16 日の間の 5 日間

開講場所 : 大阪大学中ノ島センター / ケンブリッジ大学 ジャッジ経営大学院

募集定員 : 催行最低人数 13 名

募集対象 : 製薬・バイオテクノロジー関連事業を行う企業の技術系人材で、近い将来の部門長、部長等候補者

受講料 : 275 万円 (消費税込み) 渡航費、英国滞在費、追加プログラム等を含む

受講生募集 : 2006 年 7 月 20 日 ~ 10 月末日

終了時 : 修了証書授与



「大阪大学・ケンブリッジ大学ジャッジ経営大学院 共催 エグゼクティブ MOTI 講座」開設の経緯と今後の展開

国際クラスター連携の必要性

大阪大学を中心とした北大阪地域では、ここ数年、国際的なバイオクラスター創成のための活動が活発に展開されてきた。

ライフサイエンスパーク開設などのインフラ整備、研究成果の産業化やバイオベンチャーの創出、産学連携による共同研究・共同開発、異分野産業からバイオ・ライフサイエンス分野への参入など、この間、様々な側面でバイオ・ライフサイエンス関連分野の研究、事業化に進展がみられる。

今後、バイオクラスターとしてさらなる発展を実現するには、相互補完が可能で、それぞれの強みを生かした相乗効果が期待できる海外の優れたクラスターとの連携が必要となる。

ケンブリッジ地域と北大阪バイオクラスター、MOTI 開設に向けた動き

そこで、世界トップレベルの研究水準と充実した産業化の仕組みを備えるケンブリッジ地域に着目し、ケンブリッジ大学と大阪大学の交流、ケンブリッジ地域と北大阪の両バイオクラスターの連携推進を大商から大阪府に提案。これを受けて、2005年7月に太田大阪府知事がケンブリッジ大学を訪問。その後、具体的な連携を模索するため、大阪大学森下竜一教授が同年10月にケンブリッジ大学を訪れて協議したところ、両地域の連携の手始めに、それぞれのクラスターのコアとなる大阪大学とケンブリッジ大学間の具体的な事業として「MOTI 講座」の開設を検討することとなった。その後、種々の検討を経て、2006年3月にケンブリッジ大学ジャッジ経営大学院のオルコット教授が来阪し、共同講座開設を最終的に確認し、カリキュラム編成等の具体的準備が開始された。本講座開講にあたっては、大商が両大学、地域の得意とする研究分野や日本の製薬企業のニーズを調査した他、運営・管理を担う民間企業を用意する等、事業実施のスキームを整えた。

MOTI 開設による効果

同講座の受講対象者は、製薬企業を主としたバイオ・ライフサイエンス関連事業を行う大手企業等において、今後のプロジェクトマネージメントを担うエグゼクティブ候補生。

大阪地域としては、MOTI 講座をキックオフ事業として連携強化につなげたいが、受講対象者は、産学連携研究における企業側の意思決定を行う人材であり、彼らの交流により、両クラスターの連携が大いに進展するものと期待できる。

なお、「大阪大学・ケンブリッジ大学ジャッジ経営大学院 共催 MOTI 講座」を開設するにあたり、事業主体である大阪大学スーパー産学官連携機構と、ケンブリッジ大学ジャッジ経営大学院間において包括的な協力関係を示す覚え書きを交わす予定。

以上